

令和2年度 事務事業総点検シート(1)

[令和元年度事務事業]

一般会計						事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	健康寿命延伸産業創出事業					シート番号	001-010
担当部署名	市長公室	局	政策企画	部	先進事業担当	課 評価責任者(課長名)	手取

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます		後期実施計画の位置付け	
			施策	1	都心地域や各地域拠点の活性化		無	
	2	事業開始年度	平成 29 年度		終了(予定)年度	— 年度		
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)						
	4	関連計画						
	5	事業実施の経緯	近畿大学医学部及び近畿大学病院の開設を見据え、産学公民が連携し、ヘルスケアに関するサービスを創出することで、住民の健康寿命の延伸や地域の活性化を進めることが必要であると考えたため。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	☒ 本庁 ☐ 各区 ☐ 出先機関 () ☐ 市外郭団体 ☐ 地域団体・市民 ☐ 民間企業・NPO ☐ その他 ()				
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	住民、大学、企業、行政など多様な主体とともに、住民の健康寿命の延伸に資する産業の創出による地域の活性化の推進を対象とする。				
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	近畿大学医学部及び近畿大学病院の開設を見据え、住民の健康寿命の延伸に向け、特に大学や医療機関、民間企業等との産学公民連携体制を構築し、健康寿命延伸産業の創出や地域の活性化にむけた取組を進めることを目的とする。なお、取組を進めることで、引いては住民の健康寿命の延伸などに資するものと考えている。				
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	近畿大学医学部等の開設を見据え、産学公民の多様な主体が健康寿命延伸産業の創出や地域の活性化にむけて設立された「堺市健康寿命延伸産業創出コンソーシアム」を主体として、国や府、市の各部署の取組と連動し、優れたヘルスケアサービスを創出するため、ビジネスコンテストなど先導的なサービス展開に向けた支援を進める。また、本市の考え方やポテンシャルを全国に発信し、産業創出に向けた機運の醸成を図る取組を進めていく。				
	10	直接実施以外の主な支出先	☐ 直接実施 ☐ 指定管理 ☐ 委託 ☐ 補助金 ☒ 負担金 ☐ その他 ()				
			堺市健康寿命延伸産業創出コンソーシアム				

Ⅲ. 投入量

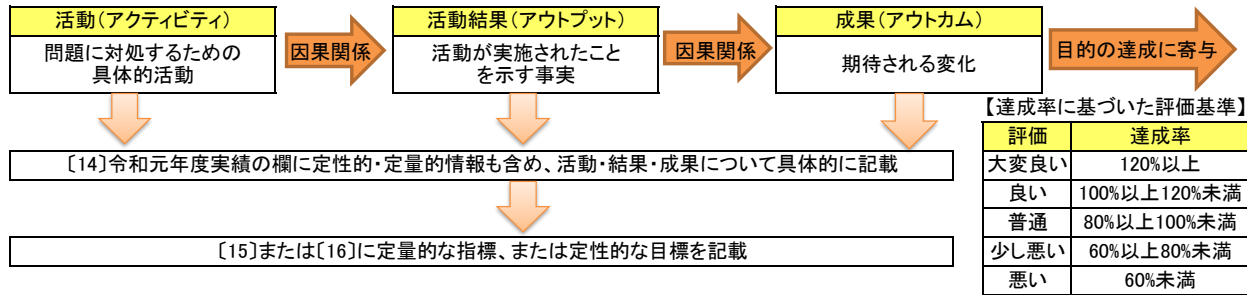
		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
事業コスト	項目	単位	予算	決算	予算	決算	予算	決算
	事業費 (a)	千円	4,939	4,680	11,315	4,213	11,315	9,828
	委託料	千円	4,808	4,600		3,980		
	旅費	千円	131	80	315	233	315	285
	負担金	千円			11,000		11,000	9,543
		千円						
	国・府支出金	千円			5,500	1,990	5,500	4,396
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円						
	市債	千円						
	その他()	千円						
	一般財源	千円	4,939	4,680	5,815	2,223	5,815	5,432
	人件費 (b)	千円	2,460	2,460	2,460	2,460	5,030	5,670
	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	7,399	7,140	13,775	6,673	16,345	15,498

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	健康寿命延伸産業創出事業	シート番号	001-010
-------	--------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績						
活動実績と成果	14	・大阪府、大阪産業局と連携したビジネスコンテストの実施 ・先進的ヘルスケアサービスの実証事業の実施:選定案件 4件 「クラウドソーシング型のバーチャル旅行で実現する認知症予防サービス」:株式会社toraru 「アートカルチャーケアによる健康寿命延伸を実現する居場所づくり」:株式会社ライフデザインインターフェイス 「ICTを活用した住民主体のNordic Walk活動の創設による百歳歩行人プロジェクト」:一般社団法人ウェルネスパーク堺 「スマートフォンを活用したロコモ・フレイル予防プログラム」:株式会社NSD ・企業、大学向けのシンポジウム、会員とスタートアップ企業のマッチングの実施:1月 ・外部講師を招いたアイデアソン、勉強会の実施:10月、1月、2月実施 ・総会(外部講師による講演あり)の実施:8月、2月				
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		健康寿命の延伸に関する実証プロジェクトの実施に向けた大学、企業等とのディスカッション件数	件数	目標値	10	15
				実績値	10	18
				達成率	100%	120%
				評価	良い	大変良い
		算出方法・設定根拠など	産学公民が連携し、コンソーシアムの趣旨に即して実施する会議や勉強会等の実施件数			
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		健康寿命の延伸に関する実証プロジェクトの実施数	件数	目標値		3
				実績値		4
				達成率		133%
				評価		大変良い
		算出方法・設定根拠など	コンソーシアム及びコンソーシアムの趣旨に賛同する団体等が実施する新たな取組やイベント等の件数			

事業の効率性

区 分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	① アイデアソン、勉強会、イベントなどの実施数	回数	-	1	5
	② 上記①にかかる年間経費	千円	-	1,000	2,000
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		1,000,000	400,000
	備考(算出についての説明等)				
区 分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	① ヘルスケアサービスの実証プロジェクト	件数	-	-	4
	② 上記①にかかる年間経費	千円			3,850
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			962,500
	備考(算出についての説明等)				

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	コンソーシアムが発足して1年目ということもあり、会員企業・大学の関心も高く、ヘルスケア産業の創出に向けたアイデアソンや意見交換などに積極的に参加していただき、活発な意見交換や実証プロジェクトに向けたディスカッションができた。 また、大阪府と連携したビジネスコンテストの実施により、多数の企業が泉北ニュータウンで展開可能なビジネスプランに応募をいただくことができた。あわせて、泉北ニュータウンでの実証プロジェクトについても、想定を上回る4件が実施できた。 今後は、ヘルスケア分野だけでなく、IoTなどの先進技術を活用したスマートシティの取組と連携し、実装に向けたプロジェクトの創出に力をかけていきたい。 会員企業は大企業も多く、大学も熱意があることから、スタートアップ企業等だけでなく会員発のプロジェクトを創出していく。 今後、コンソーシアムの求心力とモチベーションを維持するため、地域課題解決に向けたスマートシティの取組や泉北ニュータウン再生などと緊密に連携し、他分野との複合的な取組を進めていく。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	健康寿命延伸産業創出事業	シート番号	001-010
-------	--------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

■ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 ☐ 廃止できる ☒ 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 市民生活に直接影響する事業ではないが、泉北NT地域の再生やヘルスケアを含めた産業創出などの核となる取組。大学や企業を含めた様々な主体が参画するコンソーシアムが設立されたばかりであり、公民が連携して取組を進める機運と重要性が増しているため。	
	21	（20で廃止できるを選択しなかった場合） 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止（延期）できないか。	事業休止の可能性 ☐ 休止（延期）できる ☒ 休止（延期）できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 地域再生の核となる近畿大学医学部の開設や駅前開発は現在進行形で進んでおり、休止する意味はないため。	休止の場合の再開時期 ☐ 令和2年度中 ☐ 令和3年度 ☐ 令和4年度以降
	22	（20で廃止できるを選択しなかった場合） 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 ☐ 一部廃止しコスト縮減できる ☐ 一部休止しコスト縮減できる ☒ 規模等を縮小しコスト縮減できる ☐ 事業手法等を改善しコスト縮減できる ☐ 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 成果指標である民間と連携したプロジェクトの創出と企業進出に向けた機運醸成は、手法を変えながら効果的に進めるべきものであり、ノウハウの蓄積と手法の改善により事業費は縮減できると考える。	
	23	（20で廃止できるを選択しなかった場合） 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要があるか。	事業手法の適切性 ☐ 改善する必要がある ☐ 改善する必要がある ☒ 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 イベント等の開催は遠隔で行うなどの対応を行っている。また、ヘルスケアサービスの創出は、新しい生活様式を踏まえた提案（テーマ）となるよう、大学や企業等のディスカッションしながら進めている。	
	24	（20で廃止できるを選択しなかった場合） 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	① ☒ 公民連携の推進 ② ☒ ICT活用による効率化 ③ ☒ 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名（NT再生室、産業振興局、健康福祉局） 関連事業名（ ） ④ ☒ 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ ☐ 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ ☐ その他（ ） 理由・説明	①公民が連携したコンソーシアムを主体として活動しているが、事務局が実証プロジェクトの創出に向けたコーディネート機能を持つことで、一層の公民連携が進められる。 ②新しい生活様式などを踏まえ、ICTを活用した住民の意識を変えられるようなプロジェクトの発掘を進める。 ③新規事業や事業見直しの際に、関係部署の取組に民間企業のノウハウや活力を導入できるよう調整している。 ④大阪スマートシティ戦略と連携し、先進技術を活用した住民のQOL向上に効果的なプロジェクトを誘致を進める。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止または延期 ☐ 事業を縮小 ☒ 改善して継続 ☐ 現状を継続 ☐ 事業を拡充 公金投入の方向性 ☐ ゼロ ☒ 縮小 ☐ 現状維持 ☐ 拡大	実施年度 ☒ 令和2年度 ☐ 令和3年度 ☐ 令和4年度以降		
		所見	新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえ、令和2年度の執行から、事業費の縮減を実施する。 また、プロジェクト創出に向けて、スマートシティの推進といった大阪府との連携を強め、本市で住民の健康寿命延伸に寄与する実証事業をしたいと考える大学・企業等へPRし、実証事業の増加などと呼び水に、本市でのヘルスケア産業の創出を張っていくべきと考えている。		